



初めてでも
カンタン!!

DIA-LUX パンチング
価格:7万9000円(税別)

DIY

取り付け大作戦



問:ダティエンタープライズ TEL.045-534-3456 <http://www.dotty.co.jp>

Dotty DIA STYLE for MINI

デビュー以来大好評。早くもミニ用シートカバーの世界に旋風を巻き起こしているダティ。卓越したクオリティに驚くほどの高品質&低価格。それは長年に渡ってドイツ車はじめ輸入車用シートカバーを手がけてきたブランドの実力でもある。

取り付け工賃を不要にする ユーザー思いの設計が嬉しい

最初からユーザー自身での装着を念頭に設計されている

高品質&低価格。ダティが提供するシートカバーの価値は明解だが、もう一つ忘れてはならないポイントがある。「DIY装着OK」…そう、ユーザー自身での装着。もちろんヤル気があればの話だが、基本的にダティ製品はすべてユーザーでも何ら問題なく作業が行えるよう設計されているのだ。

とはいえ、そのためにフィットティング性が犠牲になってしまったりは無意味。ダブダブ&シワシワのシートカバーなど誰も欲しがらるわけではないし、第一みっともない。シワなくビ

シツと収まるフィットティング性を備

え、なおかつ工具類を持っていない素人ユーザーでもキレイに装着可能なシートカバー。そのためにダティは日夜検討を重ねて素材を吟味、裁断や縫製にも試行錯誤を繰り返してようやくここまでたどり着いたのだ。逆に言えばユーザー装着という開発前提があったからこそミニ用の発売までに時間がかかってしまった、と見ることもできるが、いずれにせよ出来映えは前号でも紹介した通り。で、今回はこの魅力的なシートカバーのDIY装着手順を写真とともに詳細解説。工具は製品に付属しているヘラさえあれば何ら問題なく行える。

張り替えの技術力を
取り入れた

フィットティング性と
デザインカ
デザイン



「ダイア」シリーズの特徴的なキルティング加工。左右対称に規則正しく入れられた美しい菱形デザインが大きなポイント。



カバーでは対応が難しいリヤセンターアームレストも張り替え感覚は保たれる。当然ドリンクホルダー機能もそのまま。



フチまでピシッと保たれた高度な縫製クオリティ。知らない人が見たら「張り替え？」と間違ってしまうも無理はない。

Dottyシートカバー 取り付け講座!!

自分で取り付けられる…最近のフィット性に優れた製品はプロへの依頼が一般的。そんな中でDIY装着を打ち出したダティ。そこには自分で愛車をカスタムする楽しさを味わって欲しいとの思いも込められている。

難易度	★★★★★
作業時間	4時間
工具	ヘラ(付属)



Before



After



07 シート下の純正のシートが固定されている場所を利用して、シートカバーに装備されているフックを引っかけて固定。作業は08と09を参照。



08 背もたれ装備されているゴム性の取り付けフック。07の純正取り付け位置に装着するためのもの。



09 見ながら作業できない部分なので07の写真を参考に手探りでゴムをフックに引っかける。純正の位置が確認できれば簡単な作業。



10 背もたれの後は座面。前方から後方に向かって包み込むように被せていく。この時、左右均等にゆっくりと被せて行く。



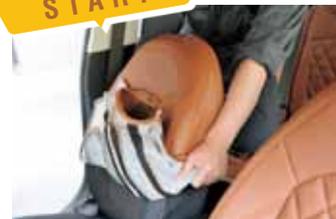
04 背面に回っての作業。カバー左右にあるファスナーを開いて先ほど隙間に差し込んだカバー下部をしっかりと引っ張り出す。



05 あらかじめ取り外しておいたシート背面のフラップをカバーの中に差し込む。フラップを戻さないで背面にシワが出てしまうので注意。



06 座面との隙間から引っ張り出した下部とファスナーで開いた上部を固定。この後にファスナーを閉じれば背もたれの作業は基本的に終了。



01 START
まずはフロントシート背もたれから。ヘッドレストを外して対応するカバーを上からめくり上げた状態で左右均等に被せて行く。



02 カバーを被せ終わったところで生地を座面との隙間に押し込む。柔軟素材&精緻な型取りがもたらすフィット性を実感する作業。



03 隙間にカバー下部をすべて押し込んだら調整作業へと移行。この時点でもパーフェクトなフィット性が得られていることわかるはず。

手順さえ追っていけばそれほど難しい作業ではない
極端に平たく言ってしまうと、装着はシートに被せて端部を固定し張り具合を調整するだけ。現車からキ

ツチリ型取りされ、素材もしなやかな高品質シートカバーだからこそ可能になった、まさにダティがこだわる高度な装着性だ。
ただ、完璧な仕上がりを得たいのであれば、やはりいくつか心してお

きたい部分もある。というわけで注意点は次ページ最後のここがポイント！にまとめておいたのでご参照あれ。ちなみに作業は器用な人なら3時間ちょっと、そうでなくても4時間ほどあれば終了できるはず。



18 左右均等になったところでまくり上げていた部分を被せてカバーを全体に装着。固定はまだ。全体のバランスをしっかりと取った後に行う。



付属のヘラが登場!!



19 仕上げを決めるバランス調整。シワが出ないように十分引っ張ることも重要。全体的なバランスを見るためにはシートに一旦装着してもいい。



カバー自体の装着は終わってもサイド部がこれでは…というわけで付属のヘラが登場。最終的な仕上げを左右する重要な作業が待っている。



15 こちらはカバーに装着されている張り具合調整ベルト。カバーをすべて被せたら背もたれとの隙間に余った部分を差し込んでいく。



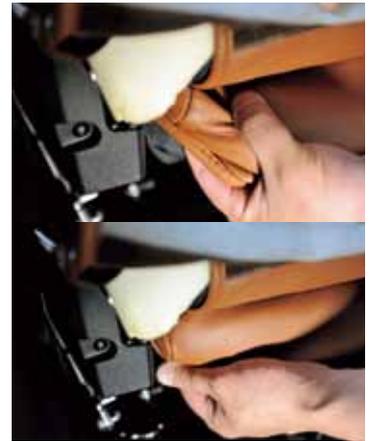
12 背面に回ってベルトともども引っ張り出し。ここからカバーを座面全体に被さるための重要なフィッティング作業へと移行。



20 ヘッドレスト下部をフックで固定し終了。シワが出たままだったり左右のバランスが取れていない場合は無理に固定せず再度調整作業を行う。



ヘラで縁を押し込みシートにつながっている樹脂部の隙間に入れていく。シート表皮をキズ付けない様に急がず慎重に作業。



16 背面へと送り込んだカバーが袋状になっているのでそれをすっぽりと被せる。上記写真のようにしっかりと引っ張らないと、うまく被せられない。



21 今回はフロントシートだけの施工だったがリヤシートも基本的には同じ。手順さえキッチリ踏めば素人でも間違いなく美しい仕上がりが得られる。



21 次はヘッドレスト。まずはカバーを半分ほど折り返した状態で被せる。この時に左右のバランスもキッチリ取れるように位置も調整しておく。



17 方法はとっても簡単。付属のバックルに固定ベルトを通して引っ張るだけ。同時にフィッティング調整も可能なタイプならではの特徴でもある。



ヘッドレストはしっかりと噛み合わせないとすぐを外れてしまうので要注意。正しくは取り付け手順の⑩を参照。



意外と目立つフロントシートサイドの縫製。ここが本体に沿って微妙なカーブを描くように調整するとキレイな仕上がりに。



シートカバーはいかに本体にライン合わせるのが要。装着した後はこのように各部をしっかりと押さえ付けてラインを合わせる。

ココが POINT!!
作業で注意すべき点をプロがアドバイス